

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考						
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価				今後の展開・改善点等							
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業所の大多数を占め、市内商工業の基盤をなす小規模事業者の持続的発展に努める。また、創業・経営革新への積極的な支援・促進を実施する。このため、窓口での相談指導をはじめ、多忙な小規模事業者の対応を高めるべく積極的に巡回相談指導を行い、7年で地域小規模事業者を一巡するとともに、事業所の課題を把握し、解決提案をする事業計画の作成並びに補助金等申請・手続きの伴走型支援を行う。	巡回・窓口指導(非会員) 実企業数 1,126(134) 延べ指導件数 2,597(181) 課題解決提案件数111 経営革新承認数 0件	小規模事業者	指標			指標			新型コロナウイルス支援、小規模事業者の体質改善支援並びに各種施策普及を行う事ができた。また、課題解決提案を113事業所に対応し、経営力向上の支援をした。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標①	目標②	より多くの事業所の課題を把握し、解決提案する事業計画づくりの伴走型支援に注力していく。		
				巡回窓口指導件数 (達成度 129.9%)			課題解決提案件数 (達成度 222.0%)											目標①	目標②		現行どおり	現行どおり
				目標数値	実績数値	2,597	目標数値	実績数値	111									2,000	実績数値		2,597	目標数値
記帳継続指導	市内個人小規模事業者の自主記帳能力を養成し、小規模事業者の経営改善に資することを旨とし、記帳から決算申告に至る一貫した記帳継続指導を行う。また、なるべく全案件を電子申告対応としていく。	* 指導事業所数 69事業所 * 指導延日数 546日 * 指導延回数 809回 * 電子申告数 65件	小規模事業者	指標			指標			経理事務の省力化の他、売上状況や経費等の速やかな把握により、経営改善策策定や経営の方向性・営業方針の決定等に有効であった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標①	目標②	機械的に毎月帳簿入力をするだけでなく、試算表から見えてくる数値を事業所へ理解してもらうような指導をしていきたい。		
				指導事業所数 (達成度 101.9%)			指導延回数 (達成度 103.7%)											目標①	目標②		下げる	現行どおり
				目標数値	実績数値	69	目標数値	実績数値	809									68	実績数値		69	目標数値
講習会等	市内事業所の大半を占める小規模事業者が抱える経営上の課題を解決するために、経営知識の普及の方法として集団講習会を開催し経営の安定を図る。個別講習会は専門家相談を通じて、事業所の課題解決や事業計画策定・実行支援への助言・指導を行う。また、あいち産業振興機構や金融機関等との連携により、事業承継を中心に相談者発掘等を行う。	集団指導 6回 受講者38名(全体60名) 個別指導 96回 受講者数193名(全体216名)	小規模事業者	指標			指標			集団指導は、地域中小・小規模事業者のニーズに応え、受講者には今後の経営安定の助に繋がった。個別指導は、小規模事業者が抱える問題点(新型コロナウイルス感染対策含む)を、専門家を交えた解決策を見出すことで、事業経営者の経営安定に資することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、オンラインセミナー等開催を検討し、小規模事業者の参加者数を増やしていく。		
				集団指導年間受講者数 (達成度 30.4%)			個別指導年間受講者数 (達成度 364.2%)											目標①	目標②		上げる	現行どおり
				目標数値	実績数値	38	目標数値	実績数値	193									125	実績数値		38	目標数値
創業支援	事業者は当地域経済の活力と雇用の維持の源泉を担っている。当地域の事業者数を増やすことで、地域の振興に資する。創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者の知識習得、創業計画策定を支援することで、新たな開業へと繋いでいく。また、知多ビジネスプラザコンテストへの応募を促し、創業計画を支援する。	創業支援者数38名 管内創業者数7名 起業家支援セミナー受講者数22名 ハンズオン支援者数0名 起業家支援セミナー「創業塾」卒業生起業家の集い参加者数4名	創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者	指標			指標			支援機関が創業にかなう環境づくりを重視することで、事業者数の自然減を抑えとともに地域の活力づくりに繋がっている。創業計画作成を機とした継続的な伴走支援を実施することにより、新事業の安定的な経営及び変化に対応できる経営力向上に繋がっている。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標①	目標②	開催回数等検討すると共に、経営発達支援計画に基づいた参加者数を増やしていく。		
				創業相談延べ件数 (達成度 63.3%)			起業家支援セミナー受講者数 (達成度 110.0%)											目標①	目標②		現行どおり	現行どおり
				目標数値	実績数値	38	目標数値	実績数値	22									60	実績数値		38	目標数値
青年部・女性部事業	青年部は次代を担う青年経済人として、若手経営者・後継者・幹部職員等が、人格教育を高め、経営能力の向上と企業の発展を図るため、自己研鑽に資する研修事業と共に、商工会議所活動への参画、協力を通じて地域経済、地域社会の発展に貢献する。また、業種交流の場としての活用で、会員相互の連携と人脈作りへと繋いでいく。また、女性会は、会員の資質向上を図るとともに、女性の視点から職業を通じ街の活性化に積極的に取り組む。	◆青年部：研修会1回開催、59名、参加率46%。一般事業2回開催、延べ126名、参加率50%。 ◆女性会：役員会毎月1回開催、参加率80%、一般事業2回開催、延べ36名、参加率46%	小規模事業者等における若手経営者(後継者等)並びに女性経営者	指標			指標			令和2年度はコロナ禍で事業自休の延期・中止を余儀なくされたが、その中でもどういった設えならば開催もしくは参加者が安心して参加できるか等を考え抜き、参加率の目標が達成できたことは今後の糧となる。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標①	目標②	この1年間の経験を踏まえて、新しい行動様式に合った事業を開催し、より会員の参加率を高めるとともに、資質向上に努める。		
				青年部・女性会事業 事業参加率 (達成度 112.0%)			アンケート調査結果 (達成度 %)											目標①	目標②		現行どおり	現行どおり
				目標数値	実績数値	56	目標数値	実績数値										50	実績数値		56	目標数値
若手後継者育成事業(全国総会参加)	女性のさらなる活躍が求められる中、女性経営者の資質向上や自己研鑽を促すため、全国商工会議所女性会連合会関係の研修会への参加を促す。	岡山県倉敷市での開催ではなく、オンライン開催(半田商工会議所大会議室にて視聴)に変更され、参加予定外の会員も参加する事が出来る。参加者：12名	当所の女性会会員	指標			指標			当初は義務者3名で参加予定であったが、オンライン開催により、他会員も参加できた。会員総会の雰囲気、実施内容も理解され、記念講演会は受講者が得られるものがあった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標①	目標②	令和3年度の若手後継者育成事業では、女性会はセミナーと視察研修会を予定しており、全国大会への参加は女性会本会計で実施することとする。		
				事業参加者数 (達成度 400.0%)			アンケート調査結果 (達成度 100%)											目標①	目標②		廃止	廃止
				目標数値	実績数値	12	目標数値	実績数値	100									3	実績数値		12	目標数値
若手後継者育成事業(学ぶ女性セミナー)	令和2年は猛威を振るう新型コロナウイルスにより経済は大打撃を受けている。女性経営者も課題を身感し、女性会員の持続的発展のため、自ら勉強する姿勢を身につけ、新しい視点からコロナ禍の時代をたくましく生き抜く力を身につけることを目的とする。アフターコロナをどう生きるか、人間の素質である心の在り方等、セミナーを通じ考えていきたい。	講師に村松大輔氏を迎え、当所大会議室にて【これからの時代をどう生きるか】のテーマでセミナー開催。参加者は26名(内17名女性会員)。その内アンケート回収は26名(回収率100%)。	女性会会員並びに関係者等事業者	指標			指標			「今後の考え方が変わった」や「社業や家庭で役立つ内容だった」など、個人やその事業に役立つ内面の部分に訴える内容だったといえる。また、書物や動画ではなかなか理解できなかった内容が理解できた、という受講者もあった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標①	目標②	令和3年度は目的・テーマをかえ、コロナ時代を生き抜くための開催としていく。		
				事業参加者数 (達成度 130.0%)			アンケート調査結果 (達成度 100.0%)											目標①	目標②		上げる	上げる
				目標数値	実績数値	26	目標数値	実績数値	100									20	実績数値		26	目標数値

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②	
若手後継者育成事業 (経営意識啓発セミナー)	青年部と言う組織は年齢制限があり、限られた時間の中で、様々な活動を通して成長を求められる。そのため、青年経済人として、実践的な研修を通じて啓発し、自己研鑽を続けることで、自己の成長、永續的な自社の発展、更には地域の発展の一助とするため、政策提言をテーマとしたセミナー及びパネルディスカッションを実施し、青年部の立場から行政への政策提言を行う土壌づくりと、親会である半田商工会議所の社会的役割について理解を深める。	令和3年1月に政府より発出された緊急事態宣言により、中止の判断をした。	会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員	総合評価	-	事業実施評価	-	調査結果	自己評価	-	満足度	-	補足	目標①	目標②	コロナ禍での研修会ということをご大前提に置き、どのような社会情勢でも開催できる設えをしていく。		
若手後継者育成事業 (全国研修会参加)	全国会長研修会は、各地商工会議所青年部の指導的役割を担う当該年度会長、次年度会長予定者、および担当事務局が対象のもの。一堂に集い、地域経済を担うリーダーとしての責務向上と意識醸成を図るとともに、熟悉ある会員(次代を担うリーダー候補者)も参加することで、一人各々が所属する青年部単会の直面課題等について、同じ立場の者同士で意見交換を行うと共に、時流に合った政策提言などについても学ぶ機会である。参加し、得た情報を単会にフィードバックすること、新たな人脈を築くことで、青年部組織の活性化、自社企業の発展、地域活性化にも広がるものとなり、今後の青年部活動も盛りあるものとなる。	令和2年11月20日(金)から大分県大分市にて開催された全国会長研修会に参加。各セッションに分かれた研修会では、日本YEGに加入している他単会の同立場のメンバーとの交流も図ることが出来た。	当所青年部会長及び、次期指導的立場となる者	総合評価	A	事業実施評価	A	調査結果	自己評価	A	満足度	A	補足	目標①	目標②	令和3年度の若手後継者育成事業では、青年部は公開型研修会を予定しており、全国会長研修会への参加は青年部本会計で実施することとする。		
商店街・街づくり事業	市内商店街の衰退が進み、中心市街地の活気が無くなっている。そこで関係団体である商工会議所、中心市街地3商店街、市商連、餅はんた賑わいビル開業、餅トローワ・アパルセの5団体を中心となり商店街の活性化、まちづくりと中心市街地の活性化を推進する。賑わい創出、商業活性化の各種事業の実施により、中心市街地をはじめとする地域の賑わい創出、まちづくりを支援する。	半田市商業施設助成事業利用：6事業所 知って得るセミナー参加店舗：20店舗 受講者数140名	中小・小規模事業者	総合評価	B	事業実施評価	B	調査結果	自己評価	C	満足度	A	補足	目標①	目標②	半田商業施設助成事業は予算枠の拡充が予定されるため、目標件数を達成に努める。知って得るセミナー事業参加者が減少している事も鑑み目標を下げるが、参加の向上に努める。		
観光振興・観光ブランド化事業	当市の近代の繁栄を築いてきた産業のひとつである「醸造業」。食生活に根づく「醸造文化」に着目した地域活性化の取り組み「醸-KAMOSU-事業」を生かし、賑わいの創出、販売拡大に繋げることで小規模事業者の振興と経営の安定に寄与。交流人口の増加を企画し、継続的な事業を実施する。また、地域資源である「半田運河」への年間を通じた誘客を仕掛ける半田市・半田市観光協会等の支援機関と協働し、商品開発支援・販促支援を行い、継続的な仕組みを構築するとともに小規模事業者の「稼ぐ力」づくりを行い、小規模事業者の振興に繋げる。	・商品開発個別相談会実施(食のビジネスフェア あいち知多半島メッセ2020内) …参加受講者数3名 …半田すしぼん事業…参加事業者数22事業者 半田めぐりん事業(めぐりんチケット)…参加事業者数127事業者 …知多半島観光圏協議会への参画	中小・小規模事業者	総合評価	A	事業実施評価	A	調査結果	自己評価	A	満足度	A	補足	目標①	目標②	引き続き事業者の意識づくり、意識向上を図る取り組みを実施し、参加事業者数の更なる向上に努める。		
商談会・ビジネスマッチング事業	展示会や商談会を開催し、市内事業者が参加することにより、事業者の新たな取引先を開拓し、事業の拡大に繋げることを目的とする。事業者の取り組みや新商品等を広く紹介し、ビジネスマッチングの機会を創出する。また、金融機関等との連携を強化し、食のビジネスフェア「あいち知多半島メッセ」に取り組み。	アライアンスパートナー発掘市2020(6/22~6/26)：参加事業所10、商談確定件数12 食のビジネスフェア あいち知多半島メッセ2021出展企業30社(小規模事業者20社)	中小・小規模事業者	総合評価	B	事業実施評価	B	調査結果	自己評価	C	満足度	A	補足	目標①	目標②	コロナ影響を考慮し参加企業数、商談確定件数ともに目標を下げるが、広報強化を行い多くの小規模事業者の経営に資することを旨とする。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値	総合評価	事業評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②	今後の展開・改善点等
部会・委員会事業	最近の企業ニーズに合った事業企画を実施し、事業所のレベルアップを図る。 部会・委員会の会報並びに研修会等を通じて事業所間での異業種交流も図られ、経営改善事業との相乗効果が見込まれ、企業発展に寄与する。	部会：会議29回、事業12回 委員会：会議10回、事業3回	中小・小規模事業者	指標	会議・事業実施回数 (達成度 90.0 %)	指標	(達成度 %)	部会・委員会活動を通じて、地域や中小・小規模事業者の支援になる事業が実施できた。	総合評価	A	事業評価の	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり	目標②	今後、コロナ影響を考慮した部会・委員会事業を通じて小規模事業者の支援に繋げていく。		
検定等支援事業	各種検定試験を実施し、地域の人材育成を支援するほか、地域社会に貢献する。	検定試験の開催 (①珠算・簿記・リテールマーケティング・PC、②カラーコーディネーター・ビジネス実務法務・福祉住環境コーディネーター・環境社会検定) 検定受験者数：①日商検定1,208人、②東商検定136人	中小企業従業員や一般市民	指標	検定受験者数(人) (達成度 89.6 %)	指標	(達成度 %)	日商・東商検定を通じて、地域の人材育成に繋がった。	総合評価	A	事業評価の	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 下げる	目標②	今年度はコロナ禍の緊急事態宣言で夏の検定がほぼ中止となった。次年度は東商検定とリテールマーケティング検定がネット試験化されるため目標を下げると共に、各事業所へ情報提供、公共施設等での広報強化を行い受験者増加を目指す。		
福利厚生事業	小規模事業者の健全な経営、雇用を図るため、各種共済制度を普及し、福利厚生の充実を図る。	あおぞら共済加入促進キャンペーン春に実施 共済新規加入者数:121人	中小・小規模事業者	指標	あおぞら共済新規加入者数 (達成度 121.0 %)	指標	(達成度 %)	あおぞら共済加入促進キャンペーンを通じて、従業員の福利厚生制度の提案ができ、共済新規加入121人に繋がる事ができた。	総合評価	A	事業評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり	目標②	共済制度リニューアルに伴う長期的なキャンペーンを実施し、より多くの事業所へあおぞら共済の加入をすすめる。		
労働保険事業(労働保険事務組合)	事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理することで中小企業事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進及び各種制度の推進を図る。	・中小企業主の労働保険事務の代行 委託事業場数 276事業所	小規模事業者	指標	委託事業所 (達成度 108.2 %)	指標	(達成度 %)	労働保険に関する事務処理の軽減と、適正処理が図れた。	総合評価	A	事業評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 上げる	目標②	今後とも、より多くの労働保険事務組合受託事業所を目指す。		
産業団体等指導事業	関係団体の事業を支援し、指導育成を通じて、各事業所の経営力の強化を図る。	半田市商店街連合会 12回 日本珠算連盟半田支部 9回 (公財)日本電信電話ユーザ協会知多地区協会1回	各種団体の会員	指標	事業実施回数 (達成度 244.4 %)	指標	(達成度 %)	地域社会に対する貢献、各団体の強化と事業所の経営力強化が図られた。	総合評価	A	事業評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり	目標②	各団体と連携し、小規模事業者に必要な事業を推進し、経営力の強化を図るとともに、地域活性化の一役を担う。		
調査・広報事業	内部環境・外部環境の様々な変化が経営に及ぼす影響は大きく、規模の大小を問わず事業者は常にその動向を探り、対応していかななくてはならない。取りまとめた地域の動向・情報を円滑に提供することにより、経営に資していただく。広報では、会報誌「カイギンゲットボウ」、メールマガジン等を通じて各種情報の発信を行うことで、事業者の経営の方向性を決定する一助を担う。	◆景気動向実態調査先60事業所に、4半期に一度実施。 ◆ホームページ年間アクセス数95,655件	中小・小規模事業者	指標	景気動向実態調査調査先事業所数 (達成度 100.0 %)	指標	ホームページ年間アクセス件数 (達成度 127.5 %)	景気動向実態調査を調査先60件に4回行い、取り纏めた情報を次調査時に提供できた。ホームページに関しては、ゲットボウとの連動により、施策や事業が情報収集することで、市内事業者が情報収集することができ、経営の一助となった。	総合評価	A	事業評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり	目標② 上げる	景気動向実態調査は訪問先への支援をより密なものにしていく。HPアクセスに関しては、本年同様、広報強化を行い、各事業への施策普及や、セミナー案内等を行い、小規模事業者の経済的発展の支えに寄与する。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。